

学校代表として、他に引けを取らない発表をしてくれました。

全国中学ビブリオバトル東京大会 参戦 12月14日(日)

本校では、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』ことを学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。その一環として、昨年度から「校内ビブリオバトル」を再開、今年も9月9日(火)に実施したところです。この度、「校内ビブリオバトル」でチャンプ本となった大野晴菜さんが、12月14日(日)に行われた読売新聞社主催「全国中学ビブリオバトル東京大会」に、本校代表として参戦してきました。



当日、会場となった「日本出版クラブ」には、東京近郊の中学校から24名の生徒が出場しました。大会は、6つのグループに分かれて予選を行い、勝ち上がった各予選チャンプ本獲得者による決勝によりチャンプ本を決めます。なお、チャンプ本を獲得した生徒ら上位者は、年明け3月に行われる第9回全国中学ビブリオバトルの出場権(シード権)を手に入れます。大野さんは、予選グループで発表しました。

大野さんは、実際に五味太郎展にいった経験などを交えながら、大げさなジェスチャーや過度の抑揚などに頼ることなく、文脈をもったわかりやすい発表でした。3分間の質疑でも、オーディエンスの質問の意図に沿って的確を射た回答で落ち着いた対応をしてくれました。残念ながら決勝進出はなりませんでした。が、他の発表者に引けを取らない、素晴らしい内容の発表でした。同じ中学生の発表を楽しく観戦することもでき、有意義な経験となった大会参加でした。



予選 グループ

発表順	発表者	紹介本(著者)
1	千葉県・県立中学校	新訳 嘔吐(ジャン・ポール・サルトル)
2	東京都・都立中学校	西の魔女が死んだ(梨木香歩)
3	大野 晴菜さん	じょうぶな頭とかしこい体になるために(五味太郎)
4	埼玉県・私立中学校	ペンギンは空を見上げる(八重野統摩)

